

副市長・教育長の紹介



副市長
ながた かずひろ
永田 一廣

昭和33年生まれ(62歳)
昭和56年 3月 九州大学理学部卒業
平成13年 4月 川内市保健福祉部生活環境課長
平成15年 4月 川内市総務部総務課長
平成16年10月 薩摩川内市市民福祉部長
平成18年 1月 薩摩川内市総務部長
平成21年 1月 薩摩川内市企画政策部長
平成28年11月 薩摩川内市副市長
(現在に至る。)



副市長
ちしきひろみ
知識 博美

昭和24年生まれ(70歳)
昭和47年 3月 九州大学工学部卒業
昭和47年 4月 株式会社大林組勤務
平成16年 4月 鹿児島県土木部道路建設課長
平成18年 4月 鹿児島県土木部次長
平成20年 4月 鹿児島県土木部参事
平成20年11月 薩摩川内市副市長
(現在に至る。)



教育長
ふじた よしあき
藤田 芳昭

昭和33年生まれ(62歳)
昭和56年 3月 鹿児島大学教育学部卒業
昭和56年 4月 鹿児島市立西田小学校教諭
平成22年 4月 鹿児島県鹿児島教育事務所所長
平成26年 4月 鹿児島市教育委員会教育部部长
平成29年 4月 鹿児島市立八幡小学校校長
令和元年11月 薩摩川内市教育長
(現在に至る。)

未来創生10ビジョンの実現

～市民総力で コロナ禍の克服、改革発展を～

未来創造ビジョン ～未来への発展に向け～

- 1 コロナ復興・スマートシティ**
 - コロナショック対策
 - SDGs 推進
 - Society5.0・スマートシティ構想実現
 - 稼げるまちづくり
- 2 産業経済**
 - 農林畜産産業振興・集落営農活性化
 - 商工業振興・企業連携推進
 - 六次産業化・物産販路拡大
 - 事業承継・創業支援・企業誘致
 - 雇用対策・地元就職支援
 - 中心市街地活性化
- 3 文化・スポーツ・観光**
 - 芸術文化振興
 - スポーツ振興・合宿誘致
 - シティセールス・交流人口増加
 - 観光地域づくり・地元盛り上げ
 - コンベンションシティ
 - ツーリズム(甑島・グリーン)
- 4 社会基盤**
 - 川内川改修促進
 - 川内港整備・利活用促進
 - 南九州西回り自動車道路整備促進
 - 国土強靱化促進(防災)
 - 主要県道の整備促進
 - 国土強靱化促進(防災)
 - 光ファイバー網整備促進・5G
- 5 定住促進・新たな国際化**
 - 人口流出抑制
 - 移定住推進
 - 貿易振興・ポートセールス推進
 - 多文化共生

地方創生ビジョン ～均衡ある発展に向けて～

- 1 人材の育成・活躍**
 - 生涯学習の推進
 - 地域の誇りづくり推進
 - あらゆる人材の活躍推進
 - 男女共同参画の推進
 - (仮称)令和塾の開設
 - 市職員の活躍推進
- 2 コミュニティ・環境**
 - 地区コミュニティ振興
 - 生きがいづくりの推進
 - 安全確保・防災対策
 - 買い物不便・地域交通対策
 - 自然環境・生活環境・地球環境対策
 - 田園地域・甑島地域の振興
- 3 健康・福祉**
 - 新型コロナウイルス感染症対策
 - 医療体制の充実・健康づくり推進
 - 地域包括ケアネットワーク構築
 - 生涯現役社会の推進
 - 高齢者・障がい者福祉の充実
- 4 子ども・教育**
 - 出会い機会の充実
 - 妊娠・出産・産後ケア支援
 - 子育て支援の充実
 - 保育サービスの充実
 - 学校教育の充実
- 5 市役所改革**
 - 広聴・情報発信・SNS機能の強化
 - 財政健全化の推進
 - 組織・施設・業務の最適化
 - 行政のデジタル化推進
 - 市役所サービス満足度の向上



11月7日(土)、田中良二薩摩川内市長が就任しました。ここに、新市長の市政に対する抱負を紹介します。



Tanaka Ryoji

田中良二

Profile
昭和31年 薩摩川内市田海町生まれ(64歳)
昭和44年 市立八幡小学校卒業
昭和47年 市立下東郷中学校(現・平成中学校)卒業
昭和50年 県立川内高校(27期)卒業
昭和54年 九州大学文学部卒業
川内市役所入庁
平成16年 薩摩川内市企画政策部長
平成18年 市役所退職
平成19年 県議会議員初当選
令和2年 県議会議員辞職
(4期、総務委員長・議会運営委員長等を歴任)

このたび、市民の皆さまの力強いご支援を賜り、薩摩川内市長として市政を担うことになりました。私はこれまで、長年にわたる市職員として市政の一端を担い、特に1市4町4村の市町村合併の際には川薩地区法定合併協議会の事務局長として広範にわたる調整作業の一翼を担いました。また、平成19年からは、鹿児島県議会議員として4期13年、広大な県政を舞台に活動し、積極的に政策提言を行ってまいりました。

これまで培った貴重な経験と知見を生かし、薩摩川内市の「未来創生」実現に向け、積極果敢に取り組んでまいります。本市を取り巻く情勢は、人口減少、少子・高齢化の急速な進行に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による市民生活や社会経済活動への影響は大変大きなものとなっております。そこで、私は令和2年を新型コロナウイルス克服

元年と位置付け、適宜的確な対応を講じてまいります。また、市役所の最も大きな役割は「将来ビジョンの実現」と「市民サービスの向上」であるとと考えており、市職員と共に一丸となって市民の皆さまの声を耳を傾け、また、市議会議員の皆さまとの政策議論を通してその実現を図ってまいります。

薩摩川内市長
田中 良二